

---

# 孤独な少女

小日向しいな

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

孤独な少女

### 【Nコード】

N4776P

### 【作者名】

小日向しいな

### 【あらすじ】

少女が独り、そこにいた。  
ただただ孤独に。

(前書き)

今書いている「とある神秘の水流計」と雰囲気似てる詩です。

部屋を片付けたら出てきました。

僕は無力で、何も出来なかった。

それ故に、誰かを守れなかった。

悔しかった。

でも、僕の目の前には、力を持った少女が現れた。

うらやましかった。

何の力もない無力な自分とは違って、彼女には力があった。

彼女は綺麗で、壊したくなるくらいに綺麗で、優しかった。

でも、

少女は独りだった。

力を持つ少女は家族も、守るべき人もいなかった。

それでも僕は、

彼女がうらやましくて、彼女になりたかった。

そのためにはどんな犠牲も惜しまないと思った。

ついに僕は、

彼女にその思いをぶつけてしまった。

彼女は一瞬かなしそうにわらって言った。

わたしは、力がほしかったわけではない。

力を持たずには生き延びられなかったから

力があるだけ。

そういえる貴方がうらやましい。

僕は、間違っていたのかな。

彼女はいつの間にか消えていたけど、

いつの間にかいなかったけど、

僕の心には、

まだ彼女が住んでいる。

(後書き)

コメント、感想など待ってます!!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4776p/>

---

孤独な少女

2010年12月13日20時12分発行